

2023年 11月 16日

2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人マナーズ

ホーム名 ハレルヤ・ファミリー

代表者・役職名 氏名 理事長・宅間佳代子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

ハレルヤ・ファミリーの児童を宿泊を兼ねた旅行に連れて行く事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人は平成21年に法人を設立し、ボランティアで身寄りのない子どもたちをサポートして来ました。その事業を受けて平成25年4月からは、養育者の不在、もしくは家庭にいての出来ない青少年に健全で安心な生活の場を提供する施設「自立援助ホーム ハレルヤ・ファミリー」を開設いたしました。現在では「つくばこどもの家食堂」を活動に加えて、包括的なことも支援を行なっています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

コロナ禍の前までは、年に一度、ホームの児童を連れて旅行に行っていました。非日常の空間で様々な体験を行い、とても良い思い出を子どもたちは得ていました。ホームを卒業した青年たちと会っている時も、旅行での楽しい体験をよく覚えていて、嬉しそうに話をしてくれます。青年期の大切な時に、子どもたちには少しでも多くの良い経験を通して、自立へ向かうエネルギーを蓄えてほしいと思います。またホームスタッフと良い関係性を築き、信頼関係が生まれることを期待しています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2023年11月、ホームに入居する児童をつれて2泊3日の旅行に出かけました。目的地は大阪で、大阪市内の観光やユニバーサルスタジオジャパンの見学を行いました。児童参加人数は4名、付き添うスタッフは5名、合計9名での旅行となりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

コロナの影響もあり、実に3年ぶりの旅行となりましたが、現在入居している児童にとっては非日常の特別な体験を行うことができたと感じています。特に関西に出かけたことがない児童、新幹線に初めて乗った児童もいて、初めての体験をすることができたことは児童にとっても大きな経験であったと思います。また旅行経験自体がとても少ない児童ばかりでしたので、旅の仕方や楽しみ方をスタッフを通して学ぶことができたと思います。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

援助ホームでの生活は普通の家庭と比べて、非日常的な体験をすることが少なく、頻繁に旅行に出かけたりイベントがあるわけではありません。運営費も少ない中で、どのようにして児童に楽しい思い出を作る行事を企画することができるかが課題になっています。当ホームとしては毎年一回の旅行を含め、複数の特別体験ができる機会を児童に提供することができるように努力していきます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



